



医療法人 丸岡医院 院長 田中栄一

千葉県市川市生まれ。山形大学医学部、同大学院卒(医学博士)。産科婦人科、内科はもとより、東洋医学(漢方治療)、心療内科にも精通。今年4月から、丸岡医院で女性内科、漢方外来(東洋医学外来)、心療内科を担当している。

「更年期障害」は卵巣が機能を停止する閉経前後、40代後半から50代半ばのことで、その時期は体のバランスをとった女性ホルモンが減少することで、さまざまな症状に悩まされることで、さまざまな症状に悩まされることにあります。

「普段の生活でも感じているような症状ですね。」
更年期障害は人によって症状も程度も異なり、女性の8割はなんらかの変化を感じているという統計も。医療機関を受診せずに症状が出る1~2年をやり過ごしてしまって、人があとんどですが、ついならホルモン補充療法や漢方薬で治療できます。でも、実は更年期後の体の変化の方が重要なことです。終わったら安心と思っていたけど違うんですか?これまで健康だった人でも、女性ホルモンの減少に

ます。これは心筋梗塞などの深刻な病気につながります。

「それでは、閉経後に医療機関を受診すべきなんでしょう?」初潮の時期や出産経験の有無などで、どれくらいリスクを抱えているかは人それぞれ。骨量は30代がピークですが、不調を感じてから測つてもどれだけ減ったのか分かりません。若いうちから骨密度やコレステロール値を測り、数値の推移を見守りましょう。

まずは、女性のライフスタイルに長けているお医者さんに相談を。早いうちは薬に頼らなくとも食事や運動などで対応できます。

「更年期障害と聞くと、女性にとつては避けて通りたいところです。」

「更年期」は卵巣が機能を停止する閉経前後、40代後半から50代半ばのこと。その時期は体のバランスをとった女性ホルモンが減少することで、ほてりや発汗、動悸、頭痛、イライラ、不眠、肌荒れなどさまざまな症状が現れます。これらが「更年期障害」と呼ばれるものです。尿もれや性交痛の相談も多くなりますね。

田中院長の女性外来へようこそ

多くの女性が、人知れず体の不調に悩んでいます。「どうしたらいい?」そんな声に、丸岡医院の田中栄一院長がお答えします。

vol.3 更年期障害とその後

より病気になるリスクが高まります。ひとつは「骨粗鬆症」です。閉経後の骨量減少により骨折しやすくなり、それが原因で寝たきりになることも。

もうひとつは「動脈硬化」。男性は年齢にかかわらずコレステロール値が高いですが、女性は更年期あたりからぐんと高くなり

ます。これは心筋梗塞などの深刻な病気につながります。

平成28年4月より女性外来を開設しました

女性のための「かかりつけ医」として、女性のヘルスケアをトータルに診ることを主眼においています。



受付時間	月	火	水	木	金	土
午前8:30 ～12:30	○	○ ※	○	○	○	○
午後2:30 ～5:30	○	○ ※	○	/	○	/

休診日／日曜日・祝祭日

※火曜日は婦人科・女性内科・心療内科・漢方外来は休診

診療科目／内科 婦人科

消化器内科 循環器内科 女性内科
漢方内科 心療内科

酒田市松原南15-1 Tel0234-23-8166 http://www.maruoka.or.jp/



医療法人 丸岡医院